

令和2年5月1日現在

26	金剛寺の五輪塔群	吉岡町大字南下字大藪	桃井氏関連と伝える中世の五輪塔群。	E-3
29	釜屋の十王様	吉岡町大字南下字大藪	閻魔像に寛政10(1798)年と刻まれた無量寺跡の十王仏。	E-3
30	丸山の五輪塔	吉岡町大字南下字丸山	中世桃井氏に関わるものと推察される。	E-4

ぐんま絹遺産

通しNo.	名称	種別	登録年月日	所在地	Map No.
1	馬場重久の墓	県絹遺産登録	平成23.7.14	吉岡町大字北下字山下	F-3
2	蚕神社の石碑	県絹遺産登録	平成24.2.6	吉岡町大字北下字北発知岡	F-2
3	椎産霊神の石碑	県絹遺産登録	平成24.2.6	吉岡町大字陣場字中御所	F-4

史跡・文化財

通しNo.	名称	所在地	備考	Map No.
1	小倉の猪土手	吉岡町大字小倉字上蟹沢	榛名山東麓から南麓にかけて続く獣よけの土塁。	E-2
2	小倉古墳群	吉岡町大字小倉字上蟹沢他一帯	7世紀代の大古墳群で30基程が現在でも確認できる。	E-1
3	智明房館跡	吉岡町大字小倉字後弥陀	中世仏門に入った園田太郎成家が智明房と改め、堤家のある場所に往んでいたと伝わる。	E-1
4	産泰神社の板碑	吉岡町大字小倉字鳥居木	ご神体阿弥陀三尊が刻まれている。	E-1
5	伊香保街道野田宿	吉岡町大字上野田字町南・町裏	伊香保街道の宿場である。平成18(2006)年から屋号看板が設置された。	E-2
6	東福寺の半鐘	吉岡町大字上野田字西原	正徳2(1712)年倉林長兵衛の作で、奉献の趣旨等が刻まれている。	E-2
7	原澤文仲の墓	吉岡町大字上野田字西原	紀州の華岡青洲と並び賞された外科医と言われている。	E-2
8	森田梅園・梅子・梅孫の墓	吉岡町大字上野田字西原	本陣家に生まれ、野田用水工事や地域の教育に尽力した。梅園は書家、梅子・梅孫は狩野派の画家としても有名。	E-2
9	灌泉神社と袂石	吉岡町大字上野田字宮東	古い伝説を持つ巨石があり参道には鳥居形と呼ばれる巨木がある。	E-2
10	野田堰の石樋	吉岡町大字上野田字小井出	明治27(1894)年に施設された全長約3kmに及ぶ灌漑用石樋。	D-2
11	万葉の歌碑	吉岡町大字上野田字井堤	「伊香保ろの…」と万葉集に詠まれたのは滝沢川の南岸であったらうといわれている。	C-1
12	華蔵寺の客殿	吉岡町大字下野田字森下	奈佐勝畢他多くの文人がここに逗留したという。	F-2
13	武藤又左衛門の墓	吉岡町大字下野田字石田	ニッ岳の林場論争にかかわった下野田村の名主。	F-2
14	桃井城跡	吉岡町大字南下字大藪	南北朝時代の武将桃井直常が築城したと伝えられる。頂上部に前方後円墳がある。	E-3
15	大藪不動尊	吉岡町大字南下字大藪	不動堂の厨子の内部に木造の不動明王が安置されている。	E-3
16	桃井塚	吉岡町大字南下字下八幡	桃井直常と奥方の墓と伝えられ、土地改良工事により現在地に移した。	F-3
17	桃井の池	吉岡町大字南下字下八幡	桃井直常が誕生した時に池の水を産湯に用いたと伝えられる。	F-3
18	石関黒山の墓	吉岡町大字陣場字下陣場	儒学者太田錦城に学び前橋藩校教授を勤めた。	F-4
19	石関黒山の顕彰碑	吉岡町大字陣場字中御所	小出神社境内に建立された。	F-4
20	中島宇右衛門の墓	吉岡町大字大久保字下町	大久保村の名主で文人であり、寺子屋を開き子弟を教育した。	H-4
21	大泉寺の句碑	吉岡町大字大久保字下町	碑文は「鐘つかぬ里は何をか春の暮」の芭蕉句碑である。尚、芭蕉は上州には来ていない。	H-3
22	白雄と岱路の句碑	吉岡町大字大久保字中町	加倉白雄は信州上田出身の俳人で、国府村の金井岱路は町下生。	H-3
23	佐藤家の句碑	吉岡町大字大久保字三津屋	碑文は「葬や古礼薨満多我母奈羅数」の芭蕉句碑である。尚、芭蕉は上州には来ていない。	G-3
24	十石塚	吉岡町大字大久保(字十石塚)	大窪太郎がこの付近に住み、十石塚に埋葬されたと伝えられる。	G-2
25	木戸の跡	吉岡町大字大久保字木戸	鎌倉街道の村境に設けてあったと思われる。	F-2
26	木暮三右衛門の墓	吉岡町大字漆原字辻下	関孝和から7代目にあたる和算家。総社神社に算額がある。	H-3
27	矢落観音	吉岡町大字漆原字上ノ原	長松寺境内にあり船尾山縁起に係る古い伝説がある。本尊は十一面観音。通称「ざる観音」。	G-2
28	川原田不動尊	吉岡町大字漆原字川原田	江戸中期の石造仏で、利根川の水害防止のため地域で祀られている。	H-3
29	長塩屋敷跡	吉岡町大字漆原(字十二廻)	中世武士の長塩氏屋敷跡と伝わる。土塁の跡がのこる。	H-2
30	長松寺の仏像	吉岡町大字漆原字上ノ原	本尊は阿弥陀三尊。その他に釈迦三尊及び境内に岩船地蔵がある。	G-2



吉岡町のご案内



吉岡町章の紹介

吉岡町の頭文字を中心に、古代文化を象徴して鉄鉄を三方に図案化しています。三個の鉄は上毛三山を表現するとともに、三つの前進方向を示しています。「明るい郷土」、「住民福祉」、「環境整備」を意図するものです。町の木「イチヨウ」・町の鳥「ひばり」・町の花「さく」

文化庁では、文化財愛護運動をおし進めるための旗じるしとしてシンボルマークを定め、昭和41年5月30日の文化財保護法公布記念日に発表しました。このシンボルマークは、ひろげた両手のひらのパターンによって、日本建築の重要な要素である斗拱(組みもの)のイメージを表わし、これを三つ重ねることにより、文化財という民族の遺産を過去、現在、未来に渡り永遠に伝承していくという愛護精神を象徴したものです。

お願い

現在、南下古墳群は安全確保のため、石室内への立入りを制限しています。

問い合わせ先

吉岡町文化財センター(月曜日休館)
群馬県北群馬郡吉岡町大字南下1322-12
TEL 0279-54-9443 FAX 0279-25-7765
令和2年6月発行

吉岡町教育委員会(生涯学習室)
群馬県北群馬郡吉岡町大字下野田560 TEL 0279-54-1054 FAX 0279-54-8448



令和版 吉岡町文化財マップ

ふるさとの歴史散策

吉岡町文化財マップ掲載一覧表

※文化財を見学する際は、所有者及び管理者の承諾を得てください。

指定文化財					
通しNo.	名称	種別	指定年月日	所在地	Map No.
1	船尾滝	名勝	昭和63.3.23	吉岡町大字上野田字上ノ原2842-1	A-1
2	三国街道の一里塚	史跡	昭和57.12.21	吉岡町大字上野田字屋敷裏363-1	F-1
3	桃井館の欄間	重要文化財	昭和57.12.21	吉岡町大字上野田字田中435-2	F-2
4	華蔵寺第八世亮衍の墓	史跡	平成12.11.22	吉岡町大字下野田字谷地1055-1	F-2
5	華蔵寺の石造弁財天	重要文化財	平成13.10.22	吉岡町大字下野田字森下990-1	F-2
6	華蔵寺獅子圖書庫蔵書	重要文化財	平成12.11.22	吉岡町大字下野田字森下990-1	F-2
7	滝沢古墳	重要文化財	平成5.9.1	吉岡町大字下野田字宮下559	F-2
8	下八幡宮の石祠	重要文化財	平成13.10.22	吉岡町大字南下字下八幡847-3	F-3
9	金剛寺の宝篋印塔	史跡	平成5.9.1	吉岡町大字南下字大藪187	E-3
10	大藪獅子舞	重要無形文化財	平成15.5.22	吉岡町大字南下字大藪180	F-3
11	馬場重久の墓	県指定史跡	昭和27.11.11	吉岡町大字北下字山下329-1	F-3
12	下八幡宮獅子舞	重要無形文化財	平成15.5.22	吉岡町大字南下字下八幡848	F-3
13	南下古墳群				F-3
	南下A号古墳	史跡	平成22.3.24	吉岡町大字南下字宮代1315-1	
	南下B号古墳	史跡	平成22.3.24	吉岡町大字南下字大林1326-2	
	南下C号古墳	史跡	平成22.3.24	吉岡町大字南下字大林1319	
	南下D号古墳	史跡	平成22.3.24	吉岡町大字南下字大林1322-15	
	南下E号古墳	史跡	平成22.3.24	吉岡町大字南下字大林1323-3	
	南下F号古墳	史跡	平成22.3.24	吉岡町大字南下字大林1318	
14	三宮神社	重要文化財	昭和63.2.22	吉岡町大字大久保字宮1-1	G-3
15	清祭三宮神社獅子舞	重要無形文化財	平成15.5.22	吉岡町大字大久保字宮1-1	G-3
16	三宮神社太々神楽 三楽講	重要無形文化財	平成23.11.29	吉岡町大字大久保字宮1-1	G-3
17	佐渡街道の道しるべ	重要文化財	昭和57.12.21	吉岡町大字大久保字駒寄2338-2	G-3
18	三津屋古墳	県指定史跡	平成7.3.24	吉岡町大字大久保字三津屋2037-1	G-3
19	森田家 主屋・書院・長屋門	重要文化財	令和元.5.30	吉岡町大字上野田字町裏677	E-2

※南下A・B号古墳は、平成5年12月1日に指定となったが、その後公園化の整備に伴い平成22年3月24日南下古墳群として再指定となった。

石造物			※所在地の()は消滅した小字	
通しNo.	名称	所在地	備考	Map No.
1	小倉地蔵尊	吉岡町大字小倉字地藏堂	坐像の地蔵尊で、当地の地名になったという。	F-1
2	六地藏	吉岡町大字小倉字築地	文化7(1810)年 小倉寺が廃寺になったため当地に移転した。	E-1
3	上野田の道祖神	吉岡町大字上野田字町尻	安永2(1773)年 双体道祖神 三国街道と伊香保街道の交差点に建つ道祖神。	F-2
4	大黒様	吉岡町大字上野田字町南	元治元(1864)年 盗難により再建したが戻り、2体祀られている。	E-2
5	町南の石造物	吉岡町大字上野田字町南	薬師、地蔵尊、大青面金剛夜叉等多数あり。	E-2
6	正福寺の地蔵尊	吉岡町大字下野田字森下	元禄16(1703)年 かつては縁日があり、その他の石造物もあり。	F-2
7	華蔵寺の石造物	吉岡町大字下野田字森下	無幻書の庚申塔(百庚申)他、石造物あり。	F-2
8	森下の馬頭観音	吉岡町大字下野田字森下	4体あり。その内3体は江戸中期のものである。	F-2
9	石田の石造物	吉岡町大字下野田字石田	大日如来他1体。刻字の「内手」は消滅小字。	F-2
10	畑中の道祖神	吉岡町大字北下字畑中	安政4(1857)年 自然石に刻まれ意匠をこらした双体道祖神。	E-3
11	木戸の地蔵尊	吉岡町大字南下字木戸	寛政9(1797)年 幼童の名が刻まれ、命の尊さを教えている。	F-3
12	聖天宮	吉岡町大字南下字長山	石祠。これを潜ると麻疹が治るとされる。	F-3
13	宮代の庚申塔	吉岡町大字南下字宮代	明和4(1767)年 縦高2m余りの文字塔。多数あり。	F-3
14	陣場の常夜燈	吉岡町大字陣場字中御所	文政5(1822)年 三国街道沿いにあったものを小出神社に移転。	F-4
15	薬師山の石造物	吉岡町大字陣場字西原	薬師如来を祀る石祠や元禄10年の庚申塔等。	F-3
16	寺下の庚申塚	吉岡町大字大久保字善徳	新田の刻字から大久保の開発の様子がわかる。	H-4
17	大泉寺の不動尊	吉岡町大字大久保字下町	元修験宗大久寺の本尊を移し祀ったもの。	H-3
18	田端の道祖神	吉岡町大字大久保字田端	双体道祖神3体。内1体は享和3(1803)年。	G-3
19	田端の十王様	吉岡町大字大久保字田端	十王様は九体ある。	H-3
20	子育て地藏	吉岡町大字大久保字三津屋	2体あり、向かって右は元禄15(1702)年念仏供養とあり、左は子の成長を願う女性の名がある。	G-3
21	穴薬師	吉岡町大字大久保字乙清祭	樺の巨木下の古墳石室内に薬師を祀る。	F-2
22	東漸寺の馬頭尊	吉岡町大字大久保字清祭	自然石に梵字を刻んだ馬頭尊は珍しい。	F-2
23	清祭の道祖神	吉岡町大字大久保字清祭	天明元(1781)年から嘉永5(1852)年の間に作られた双体1体と文字塔3体の道祖神。	F-2
24	長松寺の石造物	吉岡町大字漆原字上ノ原	薬師、子育て地藏がある。	G-2
25	四方塔	吉岡町大字漆原字北原	安政2(1855)年 四面に名尊称を刻んだ如意輪観音塔。	G-2
26	大町の石幢	吉岡町大字漆原(字十二廻)	貞享元(1684)年 石幢と輪廻車を組み合わせた供養の為のもの。	H-2
27	洪水除け観音	吉岡町大字漆原字桑原田	昭和25(1950)年 利根川の洪水除けを祈願して建立。	H-2